

『職業教育学の探究』の創刊にあたって

名古屋産業大学は、今から 20 年ほど前、平成 12 年 4 月に開学されました。ビジネスを基盤とした「環境情報ビジネス学部」を持つ大学として 283 名の入学者を迎えて開学しました。平成 23 年には学内に株式会社名古屋産業大学グリーン・ソーシャルビジネスを学内に設置し、株式会社の仕組みを学習する機会や、PBL 型の企業講座の開催や、これに基づく省エネルギー化の提案や実施を展開しています。その後、平成 29 年からは、学部名を「現代ビジネス学部」に変更し、令和 3 年からは、大学として全国で初めて「経営」のコンセプトで展開する専門職大学の制度を活用した「経営専門職学科」を開設しました。

名古屋産業大学の母体である学校法人菊武学園は、昭和 23 年に高木武彦によって創設されました。菊武学園は、「職業人としての技能を身につける女子教育に専念されたい」をコンセプトとして、タイプスト養成学校からスタートしました。そして、創業時から「職業教育」「愛情教育」を菊武学園の原点とし、発展を遂げてきました。

今回、新たに「職業教育研究センター」が設立され、「職業教育学の探究」第 1 号が発刊されたことを心より嬉しく感じております。名古屋産業大学の建学の精神は「職業教育を通して社会で活躍できる人材の育成」です。職業教育は今後の社会の中で必要なスキルや知識を実践的に学び身に付けることであり、創業時から一貫して踏襲しているものです。本学では、インターンシップや地域連携を強化し、学外での経験と大学の学びの両方をバランスよく経験することで、社会に出て活躍できる人材を育成することを目指しています。

これまでの「職業教育」「愛情教育」の歴史を踏まえ、今回新設された 6 つの研究部門の研究活動「(1) 職業教育の歴史・比較研究部門」「(2) 企業内教育研究部門」「(3) インターンシップ・キャリア教育研究部門」「(4) 教育福祉研究部門」「(5) 高等教育研究部門」「(6) 産業遺産と職業研究部門」が、広く社会に貢献できるような活動に発展することを祈念します。

令和 5 年 4 月 30 日
名古屋産業大学
学長 高木弘恵